



## 報告書抄録

ふりがな	みずのおひがしたなか							
書名	御簾尾・東田中遺跡							
副書名								
巻次								
シリーズ名	福井県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第170集							
編著者名	宮崎 認							
編集機関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒910-2152 福井県福井市安波賀町4-10 TEL 0776-41-3644							
発行年月日	西暦2019年3月14日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° / ′ / ″	東経 ° / ′ / ″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
みずのおひがしたなか 御簾尾遺跡	あわらしおひがしたなか あわら市東田中	18208	10098	36° 11′ 48″	136° 16′ 03″	20150501 ～ 20151228	100㎡	記録保存 調査
おひがしたなかみず 東田中遺跡	あわらしおひがしたなか あわら市東田中	18208	10100	36° 11′ 48″	136° 16′ 03″	20150501 ～ 20151228	3,630㎡	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
御簾尾・東田中遺跡	集落	奈良時代 弥生時代 古墳時代	掘立柱建物 土壇墓 溝	須恵器 弥生土器 土師器	21棟の掘立柱建物を検出。仕切り壁で仕切られた建物もあり、駅馬を繋養した駅戸集落の可能性高い。			
要約	御簾尾・東田中遺跡では、奈良～平安時代の遺構・遺物が確認できた。掘立柱建物が3時期に構築されており、三尾駅の運営にたずさわった駅戸集落の可能性が高いことが判明した。縄文時代中期末の土器・石器、弥生時代中期の破砕土器供献土壇墓、古墳時代前期末～中期の溝、須恵器・土師器、中世前半の土器・陶磁器なども確認された。							

---

福井県埋蔵文化財調査報告 第170集

**御簾尾・東田中遺跡**

－ 国道8号バイパス建設事業に伴う調査 －

平成30年3月7日 印刷

平成30年3月14日 発行

発行 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒910-2152 福井市安波賀町4-10

印刷 足羽印刷株式会社

〒918-8231 福井市問屋町3丁目212

---